

### 3歳未満の子を養育する旨の申出書

※記入にあたっての留意事項を参照のうえ、色付きのセルに入力してください。

(フリガナ)		申出者 生年月日		年	月	日
申出者氏名		組合員証 記号番号		公立三重		
所属所		基礎年金番号			-	
職名						
養育することとなった日 及びその事由  該当する番号に <input checked="" type="checkbox"/> を 入れてください。		年 月 日  【事由】 <input type="checkbox"/> 1 出生 <input type="checkbox"/> 2 養子縁組 <input checked="" type="checkbox"/> 3 同居開始		養育することとなった日の属する月の前月に、他の実施機関に加入していた場合は、該当する実施期間の番号に <input checked="" type="checkbox"/> を付してください。加入していなかった場合は、当該月前1年以内の直近に加入していた実施機関の番号に <input checked="" type="checkbox"/> を付してください。  <input type="checkbox"/> 1 地方公務員共済組合（第3号厚生年金保険） 共済組合名： <input type="checkbox"/> 2 国家公務員共済組合（第2号厚生年金保険） <input type="checkbox"/> 3 日本年金機構（民間企業等）（第1号厚生年金保険） <input type="checkbox"/> 4 日本私立学校振興・共済事業団（第4号厚生年金保険）		
養育の特例を開始した日 及びその事由  該当する番号に <input checked="" type="checkbox"/> を 入れてください。		年 月 日  【事由】 <input type="checkbox"/> 1 出生等 <input type="checkbox"/> 2 育休終了 <input type="checkbox"/> 3 産休終了 <input type="checkbox"/> 4 就 職				
養育すること なった子	(フリガナ)	子の氏名		生年月日		年 月 日
		子の個人番号		※子の個人番号は申出者本人が確認すること なっているため、確認書類の添付は不要です。		
地方公務員等共済組合法、厚生年金保険法の規定による三歳に満たない子を養育する組合員（厚生年金保険の被保険者）等の標準報酬月額の特例を受けるため、上記のとおり申し出ます。  公立学校共済組合三重支部長 様  令和 年 月 日  住所 申出者 氏名						

【添付書類】

(R 03.01)

- 1 戸籍謄(抄)本又は戸籍記載事項証明書（コピー不可・申出者と子の身分関係及び子の生年月日を証明できるもの）
- 2 住民票（コピー不可・申出者と子の身分関係及び子の生年月日を証明できるもの）

※ 提出日から遡って90日以内に発行されたものを添付してください。

※ 養育の特例を開始した日に同居が確認できるものを添付してください。

（例）育児休業等が終了した場合は、育児休業等終了年月日の翌日の属する月の初日以後に発行された住民票が必要になります。

- 3 特別養子縁組の監護期間にある子については、上記1に代えて「家庭裁判所が発出した事件系属証明書」及び上記2の住民票が必要です。
- 4 養子縁組里親に委託されている要保護児童については、上記1及び2に代えて「児童相談所が交付する措置決定通知書」が必要です。

## 【大切なことが書いてありますので、お読みください。】

- 1 3歳未満の子を養育する組合員等の標準報酬月額の特例（以下「**3歳未満養育特例**」といいます。）が適用される期間は、申出をした月より前の月については、申出が行われた月の前月までの2年間となりますので、ご注意ください。
- 2 **この申出に基づく3歳未満養育特例は、次のいずれかに該当したときに終了します。**  
 これらのうち、**①、④、⑤、⑥に該当したときは、すみやかに「3歳未満の子を養育しない旨の届出書」をご提出ください。**（②、③に該当した場合は届出は不要です。）
  - ① この申出に係る子が死亡したとき、または養育しなくなったとき
  - ② この申出に係る子が3歳に達したとき
  - ③ 公立学校共済組合の組合員の資格を喪失したとき又は死亡したとき
  - ④ この申出に係る子以外の子について3歳未満養育特例の適用を受ける場合、この申出に係る子以外の子を養育することとなったとき
  - ⑤ 掛金等の特例（免除）を受ける育児休業等を開始したとき
  - ⑥ 掛金等の特例（免除）を受ける産前産後休業を開始したとき
- 3 この申出に基づく3歳未満養育特例が終了した後、新たに3歳未満養育特例を開始することになった場合は、再度、当該申出に係る子について、「**3歳未満の子を養育する旨の申出**」を提出してください。

## 【記入にあたっての留意事項】

### 「養育することとなった日及びその事由」欄

事 由	記 入 例
子が生まれたことによる場合	「1 出生」に☑を付し、 <b>出生年月日</b> を記入してください。
子と申出者の養子縁組による場合	「2 養子縁組」に☑を付し、 <b>養子縁組を行った日</b> を記入してください。
別居していた子と同居することとなったことによる場合	「3 同居開始」に☑を付し、 <b>同居を開始した日</b> を記入してください。

### 「養育の特例を開始する日及びその事由」欄

事 由	記 入 例
子が生まれたことによる場合 <b>【男性組合員に限ります】</b>	「1 出生等」に☑を付し、 <b>出生年月日</b> を記入してください。 ※ 3歳未満の子を養育している期間中に次の子が生まれた場合にも同様に記入してください。 <b>（併せて前の子に係る「3歳未満の子を養育しない旨の届出書」もご提出ください。）</b>
子と申出者の養子縁組による場合	「1 出生等」に☑を付し、 <b>養子縁組を行った日</b> を記入してください。
別居していた子と同居することとなったことによる場合	「1 出生等」に☑を付し、 <b>同居を開始した日</b> を記入してください。
<b>育児休業等(掛金免除)が終了したこと</b> による場合	「2 育休終了」に☑を付し、 <b>育児休業等が終了した日の翌日</b> を記入してください。
<b>産前産後休業(掛金免除)が終了したこと</b> による場合 <b>【女性組合員に限ります】</b>	「3 産休終了」に☑を付し、 <b>産前産後休業が終了した日の翌日</b> を記入してください。
3歳未満の子を有している方が、 組合員になった場合	「4 就職」に☑を付し、 <b>組合員となった日</b> を記入してください。